

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

R I 会長 バリー・ラシン



2018~2019

楽しい例会・挑戦と感激
Cheerful Meetings, Challenging
and Touching

富津中央RC会長 渡辺 哲夫

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2575 第39回例会 2019.5.16 晴

点 鐘 : 渡辺哲夫 会長

進 行 : 神子 恒 副SAA

ソング : 手に手つないで

会長挨拶

渡辺哲夫 会長



皆さんこんにちは。沖縄奄美地方が今日あたり梅雨入りの発表があるのではないかとということですが、いよいよ梅雨の季節がやって来ます。雨の好きな方は少ないと思いますが、私は別の意味で梅雨時期は、古傷の影響なのかどうか判りませんが、気圧の変化に伴って毎年頭痛に悩まされています。いわゆる気象病というやつですかね。そういうことで、梅雨空ではなく毎日がすっきりとした晴天を望みたいと思います。

さて、先週の理事会において推薦人の高橋裕之会員より、新入会員・相川恵津子さんの推薦があり理事会に諮ったところ、理事全員の賛成を頂きました。そこで、会員の皆さんに新入会員の推薦案内を通知いたしましたが、今日まで異議の申し出があ

りませんでしたので、入会を認めることといたします。正式には、6月1日付にて入会の運びとなりますが、栗原典子会員に続き、待望の2人目の女性会員の入会となります。今後も引続き、女性会員5名の入会増強を進めてゆきたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

ところで、先週の10日(金)の第5グループの親睦ゴルフ大会をもって、今年度の公式行事も無事終わることが出来ました。後は、来月の6月6日(木)の新旧会長・幹事会で、次年度に向けスタートします。私も昨年の会長幹事会がついこの間のような気がいたします。平川恵敏会長エレクト、心の準備はどうか。会長2回目なので余裕でしょうか。引継ぎが待ちどしいです。

最後に、今日の新入会員卓話には林雅彦会員となっております。時間をたっぷりとお願ひ致します。

幹事報告

神子勝美 幹事



〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

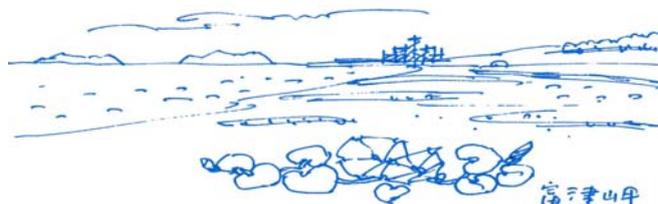
いち川旅館 Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>

Mail home@futtsuchuo-rotary.org



1. 富津シティRCとの合同例会について
日時 5月29日 夜間例会 点鐘17時30分
場所 日本製鐵(株)技術開発本部・富津クラブ
2. 木更津RC例会変更のご案内
5月30日、6月13日は、夜間例会 点鐘18:30
3. 木更津RC、君津RCより会報回覧
4. 「ハイライトよねやま」回覧

会員卓話

林 雅彦 会員



『私の信用金庫ヒストリーと

影響力のあった3人の支店長』

平成元年4月のバブル期に木更津信用金庫へ入庫しました。当時の入庫は今の時代の子には申し訳ない程で、当時就職難などという文字は微塵もなく、会社案内パンフレットの希望はがきに、大学名と氏名を記入して送ると、すぐ面接に来てくれとか、幹部候補生として迎えます等と、電話かかったりし、今自分の俸2人がまさに大学4年で、3年生から行っているインターンシップや適性検査、パソコンでの基本試験等という大変なことは、一切ありませんでした。

何の気なしに「長男だし親の面倒は最終的に自分が見るだろう。」と、全国転勤ない会社を選ぼうと街頭でふと目に入った、旧木更津信金の本店にアポなしでいきなり、人事部の門をたたいたのが最初でした。

今思えばなんて無礼で、子供のだったと思いますが、最初に面談してくれたTさんという方が、「度胸のある奴」と思われたのか、心よく応対して頂き、「良い人の居られるいい会社」と感動し、他社は受けまいと思った単純野郎でした。そして次回面接に

は「大学の成績表を持ってくるように。」とことで、持参したところ、自慢にもなりません、経済学部商学科に在籍していたのに「優・良・可」の段階で体育と心理学が「優」で他はほとんど「可」の状態でした。

にも関わらず在学中体育会出身であったこと、バイクで日本一周の経験からか「元気があってよしい」との評価に、自分としては嬉しく、それまでは金融業なんて考えたことも無かったのですが、週休二日の始まりも合わせ、就職の決め手となりました。しかしその後の役員面接ではひどい成績と「バイクで日本一周してなにか金庫に入ってメリットがあるのかい」とけなされはしましたが・・・それでもまあ縁あって勤続30年の自分が今居る訳です。

最初に自分にとって影響力のあった方は、中央支店2年目の営業係になった時、4人の新人教育するグループがあつて直属の上司である支店長代理の最初のIさんでした。言葉使い、挨拶には特に厳しい人で、朝大きく元気な挨拶が無いとやり直し、寝癖や服装がだらしないと言われ営業活動に出してもらえず、毎朝出社してから寝癖直し、ズボンのしわ直し、机の中の整理整頓が大変でした。またお客さんへの届け物をなおざりになると、酷く怒られました。今でこそ部下に指導の立場ですが当時は全然ダメ出しされていましたね。

ちなみにIさんは天羽高校野球部のエースでした。「他人に厳しく自分には甘いから。」と言ってはおられました、皆を引き付ける謙虚で正義感いっぱいの魅力のある方でした。

最初のIさんとのエピソードで忘れられないのが、2回目の縁でI支店長と私が営業係になって一緒に仕事をした時のことです。中央支店で仕事をしてから5年の経過があつたので自分も成長していると自負があつたのですが、Iさんはもっと成長していて、またダメ押しの毎日でした。ただ、稟議書作成や財務分析の基礎を最初から見直してくれたり、毎晩遅くまで付き合ってくれたことが、私にとっての転機なつたと感じました。そのままでは基本もできていない、その本質もわからない融資係になっていたと思います。

また、平成10年12月の暮も押し迫ったある日のこと、当庫から都銀へ鞍替えし、以前当金庫をダメ出していた会社の社長から、運転資金の相談があり、支店長と相談してしばらく融資与信していたのですが、当時の審査部がこれ以上の与信はダメということで、その理由を聞いても話してくれないことがあり、(当時審査部の上席が支店長だった際に罵られたことから都銀に鞍替えしたらしい)その内容をI支店長と一緒に社長に告げに行くと、やはり社長が罵り始めました。その内、横を見るとI支店長が拳を震わせて握っていることに気が付きました。すると「よう、社長何でこうなったか、原因はあんただってことがわからないの？数年まえに自分が支店長代理で、社長に罵られた支店長の横にいたのを覚えていないのかい。尊敬する、しないは別として上司があんなに言われる姿を見せられてそんな言い草はないだろう。」と一喝してプイッと出て行きました。

すると社長は「林君、初めて支店長らしい支店長を見たよ。お願いだから間にはいって続けるように取りなしてくれないか。」と私に話しました。その時のI支店長の媚びることの無い姿を誇らしく思いました。後で聞いてみると「あの時はお前たち若手の期待を裏切らないようにと必死だったよ。」と飲んだ席で聞きました。

2人目の影響あったI支店長は、平成14年千葉信金、木更津信金それに成田信金の合併の年、旧千葉信金稲毛支店へ、言わばアウェイ状態の中への営業係長で赴任した時の支店長です。この人は旧千葉信金でも超有名な厳しく、又ハチャメチャな方でした。当時仲間から「ご愁傷様です。」と言われたことを覚えています。今思えば徹底的に付き合いやすい支店長だったのですが、関わり合いが薄いと恐怖でしかなかったひとが、そのように言っていたのではないかと思います。事実この人と一緒に仕事をするのが出来ず、会社に来られなくなった社員もいたのですが、朝その社員宅に出向き、出社するように促すと「この子は大人ですから本人の判断に任せます」という母親に対し、「お母さんこの子は子供だから出社拒否なんかするんですよ。」と説教し

て出社させた程で、(今時やったら大変なことになったでしょう。)その半年後先のI支店長が赴任してきたら180度転換するほどのモーレツ振りで、目標数値に決して妥協することはない、全てをパーフェクトでないと気の済まないプライドの高い人でした。「ありとあらゆるセールスの知恵を出せ。」が口癖で、今では当たり前となっていますが、住宅ローンの借り換えのシミュレーションを独自に作成させ、それを各マンションにチラシ配布、爆発的な反響を受けたり、営業区域の担当者には「お前としてどうしたら良いかよく考えろ。」と激をとばし、新住民の多く住む地域を全員がローラーをかける「第2営業区域制度」の発案等、色々な手を打ちました。

この方の凄いところは重箱の隅に追いやったあと、必ず救いの手を差し伸べ、自身が関わった部下を次の人事異動で全部昇格させました。きっと人事部にとっては煙たかったと思います。また私が自宅を新築していた時は、毎週末に現場に来ては、工事の進捗をチェックし、うちの大工達に「ここはこうした方がいい。」とか「もっと大きな家にしろ、お前はこんな小さな家を建てるから、仕事も小さいんだ。」とか、まあお節介この上なく、棟梁に「あの人は何ですか。」とまで言われる始末。しかし建て前や完成時にはその職人たちに酒をふるまい、差入れをしてくれたりと、今思えば自分の部下にここまで出来るかと感心もしました。またシャクに障りますが、この人の言われることの物事が、凡そその通りになって行くのが不思議でした。今になってみれば、一緒に仕事をしていて、この人に負けたくないという気持ちが、そう思わせたかもしれません。現在どうされているのかと電話で話をした時、「今リハビリしている。」と言うので、「どこか悪いのですか。」と問えば「心のリハビリだ。」と相変わらずの減らず口に一安心。

3人目のこれもIさん、矢張り影響の大きき方でした。平成25年、合併から10年が経ち千葉駅北口支店へ配属した時のI支店長です。今までの信用金庫業務の概念が覆させる程、きれいなビルのワンフロアで営業しており、千葉駅北口のど真ん中に位置し、対応する会社一社との取引ロッドが大きく、グローバルな支店で慣れるまで大変でした。そんな中、

I支店長と仕事をするようになったのですが、久しぶりの旧木更津信金の支店長と仕事が出来て、なぜか精神的にも安心感がありました。いわゆる親分肌で、「なんでも自分の考えでいいと思うことはやってよし。」の寛大な支店長でした。ちょっとぐらゐのミスをして、お客様に迷惑が掛からないものは次に生かせばそれでよしの人で、態度でも行動でもフォローしてくれ、頭が良く、カンの鋭い方でした。また何事につけ前向きに、物事を良い方向に導いてくれて、この人の為に頑張ろうと思わせるタイプの方でした。

決して自分のスタイルを変えずに、郊外店舗の時と同様に、人間力だけで顧客と渡り合える人でした。

私が担当していた超大手企業があったのですがなかなか親交が図れなかった先がありました。大手都銀や地方有力銀行がこぞって取引を求め、普通の競争では金利、サービスなど絶対に勝てない先でした。

あるとき「専務にアポを取れ。」と無茶振りされ、何とか手を尽くして、やっとアポ取りにこぎつけたところ、支店長から「煎餅を買ってこい、それもおしゃれなのでなくて、割れた煎餅でうまいやつをな。」と言われて、取引先の煎餅屋で割れ煎餅を購入し、いざ訪問。初めて会う大手の専務さんと面談となったのですが、私は緊張して話が続きませんでした。支店長が、「専務さんは煎餅がお好きと伺いました。これを皆さんで。」と差し出し、自分の地元のことから、相手の地元の話をし出しはじめたら話が弾み、1時間くらい「子供の頃、柿泥棒をして怒られた。」などと盛り上がり様子に、自分としてはいつになったら本題に入るかと気をもみ、お付きの部長さんと目が合うほどで、さらにどうでもいい話が延々と続いた後に「じゃあ専務さん、月末にはお願いしますね。」の一言で終わり。

他行はうちより金利面で有利な提案を持ってきている筈だから「こんなじゃ話にならない。」と支店に戻って諦めて居たところ、相手の部長さんから電話が入り、「林さん、今度は支店長を連れてこないでよ。あの人に来られると高い金利で借りることになりそうだから。」とのお話。あつけにとられ支店長に

報告すると「そう、わかった。」としか返答がありませんでした。きっと事前に相手を分析し、心をつかむはなしを用意していたのでしょう。うかつにも、そこまで自分には把握できていませんでした。

このI支店長も現在は他社の役員に迎えられます。たまに支店に寄られて、あり難い毒舌を吐いての健在振りです。

この方々3名の支店長とのエピソードは私の心の中で苗字のイニシャルを取って、トリプルIとし、金庫生活のなかでの財産です。いろいろなシュチュエーションで、この支店長たちから学んだことを、部下指導に生かしていることが多々あります。究極な場面ではやはり経験が大事で、あの時あの支店長はこう判断したと思いだすものです。三者三様で自分の考えや、やり方があって、決して真似のできるものではありませんが、三者とも半分やんちゃな子供心をもった面と、何事にもブレることがなく、部下思いだったことは共通していることだったと思います。

平成が終わって令和の時代に移り、昭和の名物支店長も段々と世代交代でいなくなり、信用金庫もAIや機械化が進んでおります。しかし仕事は人が行うもので時代は変わっても、このことだけは変わらないことで、良いことは今も昔も変わることはないと思います。私も全然及びませんが、諸先輩に教えられたことを糧にして残りの金庫人生、後輩たちにいいことは伝えていきたいと思います。

花いっぱい運動報告

平野安照 社会奉仕担当部員



5月16日に社会奉仕委員会で以下の各所にフラワーポットを寄贈してきました。



「生きる証」…鈴木(俊)会員



「やまぶき苑」…本間会員



「ケアセンターさきぐさ」…三枝会員

新入会員について

高橋裕之 増強委員長

相川恵津子新入会員候補の承認ありがとうございました。正式入会は6月になりますが、次週都合がつけば、例会见学にお誘いいたします。

林会員の卓話を聴き

神子 恒 会員

本日の林会員の卓話を聴き、自分のサラリーマン時代を思い出しました。

私も林会員同様の経験をしたのですが、昔良かった事が最近では、とすればハラスメントになってしまう事が多くなってしまった気が致します。

時代は変わっていくものですね。

ニコニコBOX

岡田良弘 親睦担当部長



林 雅彦 私の下らない卓話にお付き合い頂いて有難う御座いました。

出席報告

志波 克 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/32	23	9		71.88%
前回	34/33	26	7		78.79%
前々回	34/31	16	13	9(2)	80.65%

註:MUpの括弧内は、出席規定免除者内数

本日のメニュー



はかりめどん

—— 富津展望台 ——



明治100年を記念して建てられたこの展望台は五葉松をモチーフに設計されたと聞いています。デザイナーの私にとっては何となく気になっていた身近にある建造物の一つです。

この塔を登るためには7箇所階段口があり、頂上の前ではいつの間にか1箇所の階段に導かれてしまいます。迷路を思わせるようなこの構造は不思議な彫刻とも受け取れてきます。こんな魅力を記録に残したい、表現したいと言う思いのスケッチです。

展望台からの眺望は、横須賀、横浜、東京、千葉、木更津、鋸山、館山方面と一周できます。又、この周辺は海浜植物の群生地として植物学的にも貴重な存在とのこと。

(絵と文 佐藤信泰)